

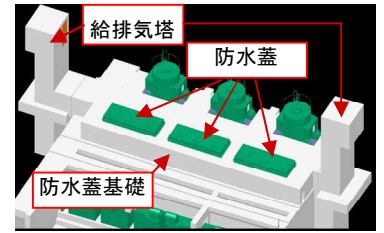
海水系ポンプエリアの浸水防止対策

原子炉補機海水ポンプの浸水を防止するために、防水蓋等^{*}を設置します。

〔1号機 完了, 2号機 平成23年度内完了予定, 3号機 平成23年内完了予定〕

※1・2号機は防水壁を設置

- 3号機の防水蓋・給排気塔等の設置工事を行っています。
- 11月22日, 防水蓋(3枚)が発電所に到着しました。



3号機海水系ポンプエリア完成イメージ図



3号機海水系ポンプエリア工事状況

☑ 給排気塔の役割

3号機海水系ポンプエリアは、防水蓋で覆われることから、海水系ポンプから発生する熱が内部にこもらないように給排気塔を設けています。



輸送船により搬入された防水蓋

3号機海水系ポンプエリア防水蓋の仕様

材質：鋼製

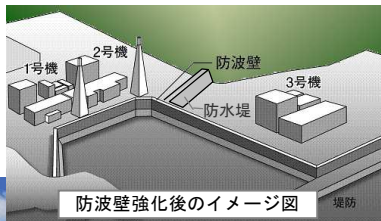
寸法：3.7m×1.0m×0.3m

重量：約10トン

数量：3枚

防波壁の強化

さらなる信頼性向上対策として、発電所構内全域を海拔15mの防波壁で囲むこととしています。〔平成25年内完了予定〕



防波壁強化後のイメージ図



防波壁3号機北側エリア工事状況

- 3号機北側防波壁について、国の登録確認機関による港湾法上の技術基準適合性確認^{※1}を受け、11月25日に確認証を受領しました。
- この度の確認により、当社が設定する基準地震動(600ガル)および津波(敷地浸水高さ海拔15m)に対して、必要な強度を有する設計^{※2}であるとの評価を受けました。

※1 港湾の施設を建設または改良する際は、港湾法に基づき、その施設が技術基準へ適合することについて、国の登録確認機関による確認を受けることとなっています。

※2 この度は3号機北側について評価を受けておりますが、3号機東側および1,2号機北側の防波壁についても、同様の条件による設計を行っています。

高台(海拔約40m)への緊急用発電機の追加設置

非常用ディーゼル発電機のバックアップとして、ガスタービン発電機(1万2千kW級×2台)を発電所敷地内の高台に設置します。

〔平成23年内完了予定〕

- ガスタービン発電機(2台)の据付工事が終了し、11月上旬から試運転を行っています。



据付後のガスタービン発電機